



TOP NEWS

年頭のご挨拶



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長
堀尾 茂之

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本会事業につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申上げます。

県内で初めて新型コロナウイルスの新規感染者が確認されてから3年が経過しました。本会においては、県からの要請によりコロナ専用病床を230床確保し、陽性患者の入院受入れ、発熱外来の設置、PCR法・LAMP法

検査機器等の整備、コロナワクチンの個別・集団・職域接種等に積極的に取り組み、地域の感染症医療の中心的な役割を果たしています。

こうしたなか、本会は、地域医療を継続的・安定的に提供していくため、国・県が推進する地域医療構想の方針に沿って、病床再編・病院統合を進めています。現在、令和7年度内の開院に向けて事業を進めています。

西濃地域では、揖斐郡揖斐川町の揖斐厚生病院と養老郡養老町の西美濃厚生病院を病床再編し、揖斐郡大野町に新たに西濃厚生病院(400床)を建築し、令和5年10月の開院に向けて事業を進めています。新病院は、急性期病床、回復期病床と西濃地域で初めての緩和ケア病床を整備し、救急医療、がん医療、べき地医療、災害医療などを担うと共に、新型コロナウイルス等の発生に備えた新興感染症医療にも対応します。病床再編後の西美濃厚生病院は、回復期・慢性期機能の病床に介護医療院を併設した196床として運営します。また、揖斐厚生病院の跡地を有効活用し、地元行政と連携して在宅医療・介護の拠点となる

施設の設置に向けて協議を進めており、揖斐地域の地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。

東濃地域では、本会・地元行政で協議し、瑞浪市の東濃厚生病院と隣接する土岐市の土岐市立総合病院を1病院化し、土岐市内に新病院(400床)を建築・運営することを決定しました。現在、令和7年度内の開院に向けて事業を進めています。

飛騨地域では、高山市の久美愛厚生病院と高山厚生病院の病床再編を行なうとして進めています。医療を取り巻く状況は、新型コロナウイルス感染症の今後の発生が不透明な中厳しい経営環境が続くものと予測されますが、「地域の皆さんから信頼され、必要とされる病院づくり」を目指し役職員一丸となって取り組む所存です。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げますとともに、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

病院の理念

地域の信頼に応えるために良質な医療を行います
わたしたちは、皆様の信頼に応えるため、安全で快適な療養環境と良質な医療を提供することを常に心掛けています。

基本方針

- ▶ 人間尊重の医療に努めます
- ▶ 常に研鑽し、質の高い医療をめざします
- ▶ 安全で満足できる医療を提供します
- ▶ 医療をとおして地域社会に貢献します

外来診療担当表 ●受付時間／午前8時30分～11時30分 ●休診日／土日祝祭日 年末年始(12月29日～1月3日)

2023年1月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科	1診 内分泌	水谷 圭吾	古川 麻里子			池庭 誠
	2診 血液／呼吸器	日下 真宏 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科・新患)		山内 辰也 (血液内科)	加藤 早紀 (呼吸器)
	3診 新患／消化器	新見 隆夫	鈴木/箕輪 (消化器)(予約制)	村山/太田	当番医	村山/太田
	5診 循環器／消化器／内科一般	木村 祐樹 (循環器)	徳田 晃太郎 (循環器)		野村 公志 (消化器)隔週	塙本 英人 (循環器)
	内臓透析予防				池庭 誠 (14:00～)	
	6診 内分泌／内科一般		安藤 詩奈子 (内分泌)	新見 隆夫 (内科一般)	太田 知英 (内科一般)	新見 隆夫 (内科一般)
	7診 リウマチ・アレルギー		西尾 克彦 (リウマチ・アレルギー)		西尾 克彦 (リウマチ・アレルギー)	西尾 克彦 (リウマチ・アレルギー)
	8診 循環器				堀部/上山 (循環器)	
神経内科	2診				三竹 愛子 (予約制)	
	3診		代務医(予約制)	高橋 典三 (予約制)		代務医(予約制)
	10診 専門外来(予約制) (物忘れ・認知症)			三竹 重久 (PM)		
腎臓内科		村山 慎一郎	村山 慎一郎	三輪/村山	村山 慎一郎	武田 有記
外来ドック室		担当医	清水 豊	伊藤 昭宏	新見 隆夫	伊藤 昭宏
整形外科	1診					西本 聰(PM)
	3診	清水端 松幸	安藤 英樹	当 番 医	清水端 松幸	安藤 英樹
外科	1診	伊藤 昭宏		川西 順 (血管外科)第1・3週	川西 順 (血管外科)第4週	
	2診	木之下 幸夫	木之下 幸夫		伊藤 昭宏	木之下 幸夫
	特殊外来<予約制>		AM ストーマ外来		沼波 宏樹 PM 呼吸器外科外来	予約制
小児科	1診 AM	水野 佑也	元吉 史昭	水野 佑也	水野/渡邊	水野 佑也
	1診 PM	予防接種	元吉 史昭 (予約制)		元吉/水野 (予約制)	予約制
	2診 AM	岡本 博之 (予約制)	中野 正大 <予約制>	渡邊 翔太	水野 佑也 馬場 礼三(月1回)	渡邊 翔太 中野 正大 第2・4週 (予約制)
	2診 PM			中野 正大 (予約制)	岡本 博之 第1・3週 (予約制)	中野 正大 (予約制)
	特1 AM				元吉 史昭 第2週	元吉 史昭 第2・4週
	特1 PM					
	特2 AM	渡邊 翔太	渡邊 翔太	元吉 史昭	元吉 史昭 水野裕也 第2週	元吉 史昭 渡邊 翔太 第2・4週
	特2 PM					
耳鼻咽喉科	1診	楊 鈞雅	車 哲成		竹内 拓馬	楊 鈞雅
眼科	1診	石神 裕子	石神 裕子		白木 玲子	石神 裕子
産婦人科	1診	石原 豊	石原 豊	石原 豊	石原 豊	安井 裕子
脳神経外科	1診	辻本 真範	北島 英臣	加藤 佑規	水谷 大佑	北島 英臣
泌尿器科	1診	山本 徳則	金井 茂	山本 徳則	金井 茂	金井 茂
歯科		横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	※予約制
精神科	1診	加藤 美樹 (初診のみ・完全予約制)	加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	鈴木 幹央
	2診				野瀬 早織	関 正樹 (特殊外来)
皮膚科	1診			藤井 建人		
リハビリテーション科		当 番 医	当 番 医	当 番 医	当 番 医	予約制

※面会時間 現在新型コロナウイルス感染症防止のため当院からの依頼以外の面会は禁止となっております。感染防止にご協力をお願いいたします。

※各診療科担当医については、都合により変更となる場合がございます。

※精神科・歯科・小児発達外来は予約制です。新規受診の方は事前に電話でご予約をお願いいたします。

※神経内科は、しばらくの間代務医の診察となっております。

脳卒中にならないために



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 大脇真弓

脳卒中は日本の寝たきりの原因第一位の病気です。寝たきりにならなくても重い障害を残すことがあります。寝たきりになるということはその人一人の問題ではなく、介護する周りの家族も巻き込んでいきます。そのため、早期発見、早期治療が重要な病気です。血管が詰まる「脳梗塞」、血管が破れる「脳出血」といった脳血管障害は、脳卒中の他に認知症の原因にもなります。

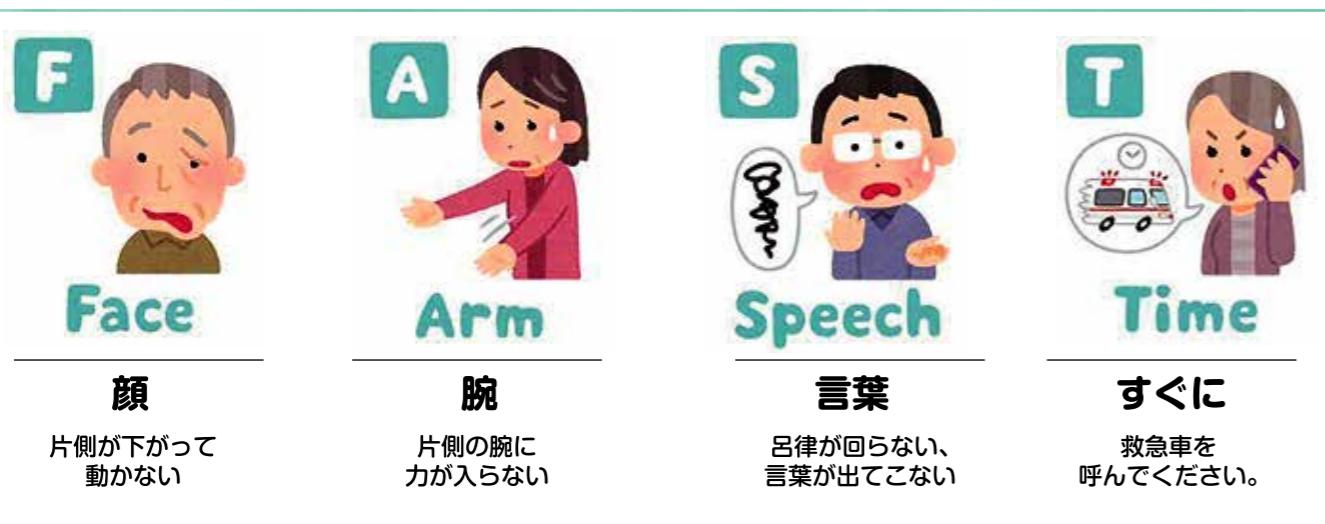
脳卒中を予防するためには高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、喫煙、飲酒、炎症の7つの危険因子を積極的に管理することが大切ですが、最大の危険因子は“加齢”と“高血圧”と言われています。団塊の世代と呼ばれる人たちがこれから10年間で75歳以上になり、脳卒中のリスクが急激に増える年代になっていきますが、加齢をコントロールする事はできません。そのため、日頃から血圧管理が最も重要で、家庭で簡易的に測定できる血圧計が広く普及していますので、ぜひ、継続的に血圧を管理することをお勧めします。

脳卒中は予防が重要であり、血圧を管理することにより十分予防ができると言われています。特に、高血圧・糖尿病疾患のある方は、生活習慣を見直しと治療を受けることをお勧めします。

高血圧は、140/90mmHg以上と言われていますが、自宅で測る血圧は家庭血圧と言われており、135/85mmHg以上が高血圧とされています。ご自身の日頃の血圧の値を知り対処していくこと、かかりつけ医に相談することが大切です。

脳卒中が起きる時は「突然」です。休んでいる時、仕事をしている時、寝ている時、いつでも起こります。脳卒中の代表的な症状は、次の4つがあります。

もし、発症したら迅速な受診が人生を救う！



* 顔、腕、言葉に一つでもこのような症状が突然生じたら、脳卒中の可能性があります。

脳卒中？と思ったらすぐに症状が出た時間を確認して（Time）急いで救急車を呼びましょう。

* 脳卒中から大切な人生を守るために、**ACT FAST**（迅速な行動）をぜひ覚えて下さい。

FASTは、【迅速】の意味とともに、脳卒中の症状も表しています。（**Face**、**Arm**、**Speech**、**Time**）



一番大切なことは、脳卒中にならないことです。脳卒中にならないためにも生活習慣を見直して健康な毎日を心掛けましょう！

Greetings

謹賀新年



病院長 塚本 英人

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また旧年中は何かとお世話になり厚く御礼申し上げます。本年も引き続き何卒宜しくお願い申し上げます。

コロナ禍も3年が経過し、自粛を含めた生活様式の変化によるストレスは非常に大きいものとなっております。そのような中でサッカーワールドカップの日本代表の大活躍やサポーターの振る舞いは久しぶりに大変明るい出来事であり、日本中が興奮すると共に勇気づけられるものでした。コロナ感染症も当初はコロナ肺炎が重症化する例が多く、本当に医療のひっ迫を経験致しました。しかし最近はワクチン接種も進み、軽症の方が増えてきました。しかし感染力は依然として強く、コロナ肺炎は非常に減少しましたが、高齢者の熱発に伴う脱水や食事摂取の低下による腎機能障害や、誤嚥性肺炎の併発により重症化するケースが非常に増えております。依然として医療機関や施設等でクラスターも発生しており、ウィズコロナの時代となり、経済活動や人の往来が活発になってまいりましたが、三密を避け、換気を行い、手洗い、マスクの着用等、基本的な感染予防対策は継続して頂きたいと考えております。

さて病院統合につきましては、昨年11月に設計、施工業者が決定し、今年1年をかけて基本設計、実施設計を行い、同時に建設地の造成や取り付け道路の整備が行われます。その後2年間で建設を終え、令和8年2月の開院を目指しております。365日ほぼすべての救急医療に対応し、手術用ロボットを取り入れ、放射線治療も開設することにより多くのがん治療に対応できるようになります。リハビリテーションを充実させ、機能回復のみならず、機能を維持、向上できるような新しいリハビリを提供し日常生活の向上に寄与できるよう考えております。今や国民病といわれる糖尿病や慢性腎臓病などに対し多くの職種によるチームでの取り組みを行い、病診連携を強化し地域全体の医療の質の向上を目指します。診療圏の拡大や、それに伴う通院困難の発生に対し、遠隔診療や、訪問診療、訪問看護の充実により地区ごとの医療体制の維持を行います。今回土岐、瑞浪両市のたっての要望により産科の開設を予定しておりますが、新規の開設となり、更に働き方改革等もあり医師、助産師の招聘を含め非常にハードルが高くなっています。3年間かけて何とか実現したいと考えておりますが今後、多くのご理解とご協力が必要と思われます。将来の医療を予測し、それに対応できる地域完結型の未来志向の病院を建設し、地域医療を支え、地域の皆様が健康寿命を延伸し、安心して、幸せに満ちた日常生活を送れるよう貢献していきたいと考えております。

最後になりましたが皆様のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げ新年のご挨拶とさせて頂きます。